

旭市介護保険運営協議会・旭市地域包括支援センター運営協議会会議結果

日時 令和7年10月28日（火）

午前9時～10時15分

場所 あさひ市民センター 第2研修室

出席委員 渡邊委員、鈴木委員、埴委員、菅澤委員、藤邨委員、
林委員、大矢委員、中居委員

事務局 椎名課長、飯田副課長、椎名副主幹、伊藤副主幹、山口副主幹

傍聴者 なし

1. 開 会（9：00）

進行 飯田

2. 委嘱書交付

3. 市長あいさつ

4. 会長・職務代理者の選出

会長に渡邊委員、職務代理者に宮内委員が選出された。

5. 会長あいさつ

6. 議 事

議長：渡邊会長

（1）旭市介護保険運営協議会について

説明：飯田

質疑なし

（2）旭市地域包括支援センター運営協議会について

説明：飯田

質疑なし

（3）高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定について 説明：飯田

質問 10期計画を策定するにあたって、9期計画の評価はしているのか？

（林委員）

回答 毎年、8月の運営協議会の時に自己評価を行っております。

意見 介護人材の不足が深刻になることが予想される。このままでは、おむつを替えてくれるヘルパーがいなくなってしまう。子育ての終わった世代への介護の求人情報の提供など、いろいろ考えていかなくてはいけない。（林委員）

- 意見 70歳代、80歳代のヘルパーも働いてもらっている。やめたくても新しい人が入らないので続けてくれている状態。(藤邨委員)
- 意見 子供を育てるときは、昨日より今日のほうができることが増えて、やりがいにつながるが、高齢者の介護は、昨日はできたことが今日はできなくなり、やりがいを感じにくい。介護の仕事をやってよかった、と感じられる、良いイメージを発信することが大事。(中居委員)
- 意見 市で行っている、移住した場合の補助制度があまり周知されていないように感じられる。就業につながるのもっとアピールしてほしい。また、不足しているヘルパーは在宅よりも施設のほうが効率よく働くことができる。不足している人材の活用方法も考える必要がある。(渡邊委員)
- 意見 サービスが充実し、介護が必要になっても安心だということが理解できれば、保険料が若干高くても不満はないのではないかと。旭市の介護のPRも大事。(林委員)
- 意見 アンケートで、運転免許証を返納した高齢者が外に出る機会が減っていないか等、影響を調べることはできないか。(埴委員)

4. その他

事務局より、次回開催は2月の予定。

質問 劣悪なサービスの施設もあると聞く。市の対応は？(林委員)

回答 市が監督すべき地域密着型施設については、定期的に運営指導を行うと共に、2か月毎に運営推進会議を開催して頂き、入居者家族、地元区長とともに運営状況を聞いております。虐待の通報があった場合は、県の所管施設であっても立入調査を行っております。

5. 閉 会 (10:15)